



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月14日

上場会社名 株式会社TSIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3608 URL <http://www.tsi-holdings.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島芳樹
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 (氏名) 門田 潔 (TEL) 03 (5213) 5511
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	52,049	—	△4,346	—	△5,754	—	△4,656	—
23年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	△46 78	— —
23年2月期第2四半期	— —	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	193,766	134,536	67.9	1,146 17
23年2月期	—	—	—	— —

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 131,569百万円 23年2月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	—	—	17 50	17 50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	—	△2,000	—	△4,000-	—	△4,000	—	△34 85

(注) 1 当四半期における業績予想の修正有無 有

詳細につきましては、本日(平成23年10月14日)発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有

新規 1社（社名 株式会社サンエー・インターナショナル）、除外 1社（社名 — ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	115,783,293株	23年2月期	1株
----------	--------------	--------	----

② 期末自己株式数

24年2月期2Q	992,600株	23年2月期	1株
----------	----------	--------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期2Q	99,537,483株	23年2月期2Q	1株
----------	-------------	----------	----

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、株式会社東京スタイル（決算期：2月）を取得企業として企業結合会計を適用しているため、当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績は、取得企業である株式会社東京スタイルの平成24年2月期第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績を基礎に、株式会社サンエー・インターナショナル（決算期：8月）の平成23年8月期第4四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績を連結したものととなります。なお、当四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第2四半期連結会計期間」として記載しております。

2. 当社は、平成23年6月1日設立のため、前期実績及び前年同四半期実績等は記載していません。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、株式会社東京スタイル（決算期：2月）を取得企業として企業結合会計を適用しているため、当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績は、取得企業である株式会社東京スタイルの平成24年2月期第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績を基礎に、株式会社サンエー・インターナショナル（決算期：8月）の平成23年8月期第4四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）の連結経営成績を連結したものとなります。なお、本決算短信は設立後最初に提出するものであるため、前年同四半期との対比は行なっておりません。

当第2四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年8月31日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により景気と消費マインドが一気に冷え込み、その後、持ち直しの気配は感じられたものの、長引く円高等により先行き不透明な状況で推移しました。

当アパレル業界におきましても、個人消費が大幅に減少するなか、一部に回復の兆しが見られましたが力強さに欠け、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状態が続いています。

こうした状況のなか、当社グループは、傘下の東京スタイルグループ並びにサンエー・インターナショナルグループが、両グループの経営資源を共有し相互に補完することで経営統合のシナジー効果の具現化を図るとともに、グループ各社が連携して積極的な事業展開を推進しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は520億49百万円となりました。営業損益は、新ブランド開発や広告宣伝の強化といった積極的な先行投資による経費の増加、並びに、M&Aに伴うのれん代の償却負担等により43億46百万円の損失となり、経常損益は、デリバティブ評価損が発生したことなどから57億54百万円の損失となりました。また、負ののれん発生益40億39百万円を含む44億36百万円の特別利益を計上し、一方、投資有価証券の減損・売却損や店舗資産の減損を含む25億92百万円の特別損失を計上したことにより、四半期純損益については46億56百万円の損失と、誠に不本意な結果となりました。

セグメント別の売上の概況は次の通りです。

（東京スタイルグループ〔6ヵ月〕）

新ブランド「ココフク」「ツールフェイス」「セレーヌ デプト」をスタートしたほか、M&Aによる複数の有力セレクトショップの子会社化など事業規模の拡大を推進しました。また、東京スタイルグループの中国事業においてサンエー・インターナショナルグループのブランド「ジル スチュアート」の販売を開始しました。その結果、東京スタイルグループの売上高は280億34百万円となりました。

（サンエー・インターナショナルグループ〔3ヵ月〕）

テレビCMによる積極的な広告宣伝活動を実施したほか、新ブランド「アルファエー」、新雑貨ブランド「キャス・キッドソン」をスタートさせました。また、サンエー・インターナショナルグループが展開するWEB通販「セレクトソニック」において東京スタイルグループの商品の販売を開始しました。その結果、サンエー・インターナショナルグループの売上高は240億21百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)
総 資 産	193,766
負 債	59,229
純 資 産	134,536
自己資本比率	67.9%
1株当たり純資産	1,146.17円

総資産は1,937億66百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が279億19百万円、受取手形及び売掛金が147億46百万円、たな卸資産が198億50百万円、有形固定資産が228億48百万円、のれんが130億31百万円、投資有価証券が659億68百万円であります。

負債は592億29百万円となりました。その主な内訳は、支払手形及び買掛金が196億84百万円、短期借入金が57億53百万円、1年内返済予定を含む長期借入金が72億63百万円であります。

純資産は1,345億36百万円となりました。その主な内訳は、資本金が150億円、資本剰余金が711億61百万円、利益剰余金が513億87百万円、自己株式が5億93百万円であります。

以上の結果、1株当たり純資産は1,146.17円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月1日に発表した平成24年2月期の業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日(平成23年10月14日)発表の「通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。当社設立に際し、株式会社東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、株式会社サンエー・インターナショナルほか連結子会社20社を新たに連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

当社及び一部の連結子会社は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

一部の連結子会社は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業損失は65百万円、経常損失は93百万円、税金等調整前四半期純損失は409百万円それぞれ増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は513百万円であります。

②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成23年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	27,919
受取手形及び売掛金	14,746
商品及び製品	17,806
仕掛品	1,818
原材料及び貯蔵品	225
その他	4,929
貸倒引当金	△267
流動資産合計	67,176
固定資産	
有形固定資産	22,848
無形固定資産	
のれん	13,031
その他	3,554
無形固定資産合計	16,585
投資その他の資産	
投資有価証券	65,968
その他	21,341
貸倒引当金	△154
投資その他の資産合計	87,154
固定資産合計	126,589
資産合計	193,766
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	19,684
短期借入金	5,753
1年内返済予定の長期借入金	2,431
未払法人税等	1,555
賞与引当金	1,147
ポイント引当金	297
株主優待引当金	17
返品調整引当金	527
資産除去債務	21
その他	15,278
流動負債合計	46,716
固定負債	
長期借入金	4,831
退職給付引当金	1,663
役員退職慰労引当金	802
資産除去債務	1,986
その他	3,228
固定負債合計	12,513
負債合計	59,229

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成23年8月31日)

純資産の部

株主資本	
資本金	15,000
資本剰余金	71,161
利益剰余金	51,387
自己株式	△593
株主資本合計	136,955
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△5,231
繰延ヘッジ損益	△21
為替換算調整勘定	△132
評価・換算差額等合計	△5,385
新株予約権	245
少数株主持分	2,721
純資産合計	134,536
負債純資産合計	193,766

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
売上高	52,049
売上原価	28,358
売上総利益	23,690
販売費及び一般管理費	28,036
営業損失(△)	△4,346
営業外収益	
受取利息	289
受取配当金	305
為替差益	12
その他	201
営業外収益合計	809
営業外費用	
支払利息	44
店舗等除却損	181
有価証券評価損	386
投資有価証券評価損	428
デリバティブ評価損	876
その他	297
営業外費用合計	2,216
経常損失(△)	△5,754
特別利益	
固定資産売却益	22
負ののれん発生益	4,039
新株予約権戻入益	272
その他	101
特別利益合計	4,436
特別損失	
固定資産除却損	32
減損損失	710
投資有価証券売却損	549
投資有価証券評価損	702
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	315
災害による損失	71
段階取得に係る差損	40
その他	168
特別損失合計	2,592
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,909
法人税、住民税及び事業税	789
法人税等調整額	△264
法人税等合計	524
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,433
少数株主利益	223
四半期純損失(△)	△4,656

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	
売上高	38,135
売上原価	20,754
売上総利益	17,381
販売費及び一般管理費	20,415
営業損失(△)	△3,034
営業外収益	
受取利息	126
受取配当金	277
為替差益	12
その他	72
営業外収益合計	489
営業外費用	
支払利息	38
店舗等除却損	181
投資有価証券評価損	105
デリバティブ評価損	804
その他	153
営業外費用合計	1,283
経常損失(△)	△3,828
特別利益	
負ののれん発生益	4,039
新株予約権戻入益	272
その他	0
特別利益合計	4,312
特別損失	
固定資産除却損	32
減損損失	710
投資有価証券売却損	42
投資有価証券評価損	151
災害による損失	19
段階取得に係る差損	40
その他	155
特別損失合計	1,152
税金等調整前四半期純損失(△)	△668
法人税、住民税及び事業税	480
法人税等調整額	△286
法人税等合計	193
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△862
少数株主利益	101
四半期純損失(△)	△964

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年3月1日
至平成23年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,909
減価償却費	1,419
負ののれん発生益	△4,039
のれん償却額	595
貸倒引当金の増減額(△は減少)	46
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	39
賞与引当金の増減額(△は減少)	△814
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△387
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7
株主優待引当金の増減額(△は減少)	11
受取利息及び受取配当金	△595
支払利息	44
有価証券評価損益(△は益)	386
店舗等除却損	181
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	315
固定資産除却損	32
減損損失	710
投資有価証券売却損益(△は益)	549
投資有価証券評価損益(△は益)	1,131
デリバティブ評価損益(△は益)	876
災害損失	71
売上債権の増減額(△は増加)	1,333
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,623
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,184
新株予約権戻入益	△272
段階取得に係る差損益(△は益)	40
その他	223
小計	△1,599
利息及び配当金の受取額	591
利息の支払額	△36
法人税等の支払額	△850
法人税等の還付額	422
災害損失の支払額	△71
違約金の支払額	△200
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,743

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年3月1日
至平成23年8月31日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△30
有形固定資産の取得による支出	△1,883
有形固定資産の売却による収入	56
投資有価証券の取得による支出	△1,341
投資有価証券の売却による収入	4,276
無形固定資産の取得による支出	△54
敷金及び保証金の差入による支出	△212
敷金及び保証金の回収による収入	462
長期前払費用の取得による支出	△99
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△8,141
その他	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△240
長期借入金の返済による支出	△979
配当金の支払額	△1,541
少数株主への配当金の支払額	△13
その他	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,819
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,577
現金及び現金同等物の期首残高	25,675
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	10,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,976

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、純粋持株会社としてアパレル事業を展開する各事業会社の経営管理及びグループ全体の戦略機能を担い、また、基幹事業会社である株式会社東京スタイル及び株式会社サンエー・インターナショナルは取り扱うアパレルブランドについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、2社の基幹事業会社を基礎としたグループ別のセグメントから構成されており、「東京スタイルグループ」、「サンエー・インターナショナルグループ」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	東京スタイル グループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,985	24,018	52,004	—	52,004	45	52,049
セグメント間の 内部売上高又は振替高	48	3	51	180	231	△231	—
計	28,034	24,021	52,056	180	52,236	△186	52,049
セグメント利益又は損失(△)	△3,360	△958	△4,319	9	△4,309	△36	△4,346

(注) 1 「その他」の区分は、事業セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 サンエー・インターナショナルグループは、平成23年6月1日から平成23年8月31日までを連結したものと
なります。

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	東京スタイルグループ	サンエー・ インターナ ショナルグ ループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,072	24,018	38,090	—	38,090	45	38,135
セグメント間の 内部売上高又は振替高	48	3	51	180	231	△231	—
計	14,120	24,021	38,142	180	38,322	△186	38,135
セグメント利益又は損失(△)	△2,048	△958	△3,007	9	△2,997	△36	△3,034

(注) 1 「その他」の区分は、事業セグメントに所属しない当社（純粋持株会社）であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日）

（固定資産に係る重要な減損損失）

「サンエー・インターナショナルグループ」セグメントにおいて、退店の意思決定をした店舗及び営業損益が継続してマイナスである店舗について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を店舗等除却損に含めて営業外費用に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結会計期間において120百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「東京スタイルグループ」セグメントにおいて、株式会社エレファント及び株式会社ローズバッドの株式を当第2四半期連結会計期間に取得し、当該2社を連結子会社としました。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結会計期間において7,938百万円であります。

（重要な負ののれん発生益）

当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されましたが、株式会社東京スタイルを取得企業として企業結合会計を適用しているため、株式会社サンエー・インターナショナルを完全子会社とする過程において、負ののれん4,039百万円が発生しました。当該負ののれんは、当第2四半期連結会計期間において、負ののれん発生益として特別利益に計上しております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月1日に、株式会社東京スタイルと株式会社サンエー・インターナショナルの共同株式移転の方法による共同持株会社として設立されました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は15,000百万円、資本剰余金は71,161百万円、利益剰余金は51,387百万円、自己株式は593百万円となっております。